

福井県古民家リノベーションコンテスト (その他用途)				応募者	代表者	会社名	采工舎	様式2-1
					その他応募者1	住所	吉田郡永平寺町松岡学園529	事務局使用欄
						電話番号	0776-61-1040	
						会社名	藤田哲朗建築設計室	
					その他応募者2	会社名	西川晃治建築設計事務所	
【応募内容】								
物件番号	1	タイトル	仮想移住ーふくいを体験ステイ		リノベーションの範囲	☒ 全体改修	☐ 部分改修	※部分改修の場合は改修範囲 ☐ 居間 ☐ キッチン ☐ ダイニング
概算工事費		36,795,000ー 円	改修後の用途	ショートステイ型民泊・賃貸施設			その他の改修場所	
【コンセプト】								
1. 対象建物について…		新保地区は九頭竜川河口の左岸に位置し、江戸時代に日本海側有数の寄港地であった対岸の三国湊と競合しながら栄えた小都市的集落です。三国湊は江戸末から明治10年代に最盛期を迎え、当該建築物はこの時に建てられたとされています。この建物は残念ながら、とおり(ニワ)に続く付属建屋(土蔵)は解体されていますが、新保地区の町家建築としての特徴をそのまま残しています。新保地区の歴史的建築物の多くが早くに失われている中で、対岸の三国湊地区の町家とは異なる特徴をそのまま有するこの新保の町家を地域のために広く活用しながら、歴史的建造物としても今後に残すことを目的にしています。						
2. 宿泊・賃貸建物に…		子供連れ家族、移住体験希望家族、大学等のワークショップ交流、ワーケーション、日本一周を目指す旅人 など連泊希望者を対象としたウィークリーステイ可能な施設へのリノベーションを提案します。ショートステイで、福井の豊かな自然とアクティビティを体験し、さらに福井の暮らしを仮想体験していただくことで、観光客よりも一歩踏み込んだ「関係者」になっていただくこと＝関係人口の創出を目的としてまいす。改修計画では、新保の歴史的建造物としての価値が失われないように、可逆性(将来的には元に戻せる)を意識しています。 参考:「三国町民家調査・街並調査報告書」(1983年 三国町教育委員会)						
【改修プランの概要】								
1. 三国町新保の町家としての外観の修復 …		屋根-越前瓦(赤瓦)、外壁-杉下見板貼り(横張り・棧押え又は箱下見板)、木製建具と格子、妻壁と下屋(かぐら建ての前身)等の歴史的、伝統的な構成。						
2. 三国町新保の町家の平面タイプを保全 …		前面の「げんかんのま(みせ)」と「おえ(なかのま)」が四つ間取りになり、座敷、縁側、中庭への繋がりと、玄関を入り「とおり(ニワ)」が後方の付属建屋へ続く構成。						
3. 三国町新保の町家の活用と保存 …		キッチン、トイレ、浴室、洗面・ランドリー等の設備を追加。ショートステイ対応の宿泊施設・賃貸施設としての「活用」と新保地区の歴史的町家としての「保存」。						
【工夫点(安心で快適な利用、地域特性・立地条件、コスト削減等)】								
1. 可逆性 …		新保地区の歴史的町家の構成と主要な構造部材を可能な限り保存し、構造補強、断熱省エネ等の工事は可逆性(元に戻せる)のある工法で計画しています。						
2. 耐震補強 …		東西面の外壁への補強は防火壁を構成する必要もあるため、火山性ガラス質複層板を面材とし、外壁の仕上げを杉下見板にして外観を保全します。壁が少ない短くて方向の耐震壁は、とおり(ニワ)側に新設しています。いずれも既存の主要構造部をき損することがないように表面から貼り付ける方法にしています。構造補強により「建築基準法」に規定する耐力レベルを確保します。						
3. 省エネ対策 …		既存外壁の土壁(伝統的な主要構造部)の両面に断熱材を付加しています。また、垂木部に断熱材を充填する屋根断熱にして屋根裏空間としての「つし」を残します。既存木製建具を修繕して外観保全をした後、樹脂製内窓と省エネ性能の高い設備機器の導入で現省エネ基準値を確保しています。 外皮平均熱貫流率=0.48<0.87、冷房期の平均日射取得率=1.3<3、一次エネルギー消費性能BEI=0.85						
4. 維持管理と更新 …		安価な施設利用料金の設定のため、内部の仕上げをシナベニア(ウレタンクリア塗装)として、既存の構成部材の表面から貼り付けるカバー工法にしています。間仕切りの建具も既存の襖・障子は保管し、傷がつきにくい木製建具に入れ替えて、小さな子様連れ家族、車椅子使用に対応させています。						
5. コスト対策 …		外観は新保の歴史的町家を再現していますが、内観は既存の伝統的構成要素を残してカバー工法にしています。						

棧瓦葺き
(越前赤瓦-既存再使用)
アスファルトルーフィング940(22Kg)
野地板 杉板 ア12
化粧野地板 杉(小節) ア12
垂木 杉(小節) 45×60 @303
断熱材 フェノールフォーム ア90

窓たて格子
既存木製建具(補修)

杉下見板(箱下見)
胴縁 杉 15×45
透湿防風シート
火山性ガラス質複層板 ア9
断熱材 フェノールフォーム ア30
下地-杉30×60
既存土壁

シナベニア ア4 UC
PB ア12.5
ロックウール ア92

無垢フローリング ア15
根太 杉45×54
構造用合板 ア12
断熱材 フェノールフォーム ア45
根太-杉45×54

福井県古民家リノベーションコンテスト (その他用途)	応募者	代表者	会社名	采工舎	様式2-2
			住所	吉田郡永平寺町松岡学園529	事務局使用欄
			電話番号	0776-61-1040	
		その他応募者1	会社名	藤田哲朗建築設計室	
		その他応募者2	会社名	西川晃治建築設計事務所	

リノベーション提案(平面図)

Before

こうど

くら

くら

せど

せど

ざしき

おえ

みせ

とうり

くら

せど

ざしき

ぶつま

な

な

な

おえ

な

みせ

とうり

三国湊きたまえ通り沿いの歴史的な町家は「通り庭一列型」が多く、三国を代表する平面タイプです。
対して、新保地区の表通りは必ず「通り庭二列型」であり、間口が4間未満の場合も2列になっています。「とおり」(ニワ)は板敷きですが、井戸・ながし・へっついが並んでいた時期は土間であつたろうと思われます。12畳の広い「ざしき」には付書院、床、収納が並び、仏壇が中に入るので、「ぶつま」にもなっています。中庭を挟んで付属建屋(土蔵?)があつたことが1960年代の航空写真からわかります。
残存する住宅部は、一部激しい損傷が見られますが、新保地区の町家の特徴を残す数少ない歴史的建造物と見ることができます。

引用・参考
近世地方都市における町並の形成
一越前三国湊の町家と都市構造一
玉井哲雄

通り庭一列型

通り庭二列型

1階平面図(復原予想) 1/200

復原予想図(東側)

After

ショートステイ型民泊・賃貸施設
仮想移住一ふくいを体験ステイ

明治の居住空間で歴史を体験ー建築当初の構造形式を残す
可逆性のある修理工法であること、歴史的建造物としての価値を失わな
いことに注意して明治の新保地区の町家を再現。

アウトドアで田舎暮らしを体験ー中庭を再整備
多様な要望に対応するグランピングテントを設置。
ミニ菜園で収穫してキッチンに直行。

1階平面図 1/200

ロフト階平面図 1/200

福井県古民家リノベーションコンテスト (その他用途)	応募者	代表者	会社名	采工舎	様式2-3
			住所	吉田郡永平寺町松岡学園529	事務局使用欄
			電話番号	0776-61-1040	
		その他応募者1	会社名	藤田哲朗建築設計室	
		その他応募者2	会社名	西川晃治建築設計事務所	

リノベーション提案(イメージパース)



● 背面の下屋の屋根
三国町家には「かぐら建て」と呼ばれる特徴的な屋根の形態があります。その形をここでは後ろ下屋に見ることができます。



● 新保町家の中庭を再現
「とおり」棟と付属屋の増築で中庭を区切り、かつての町家の構成を再現します。

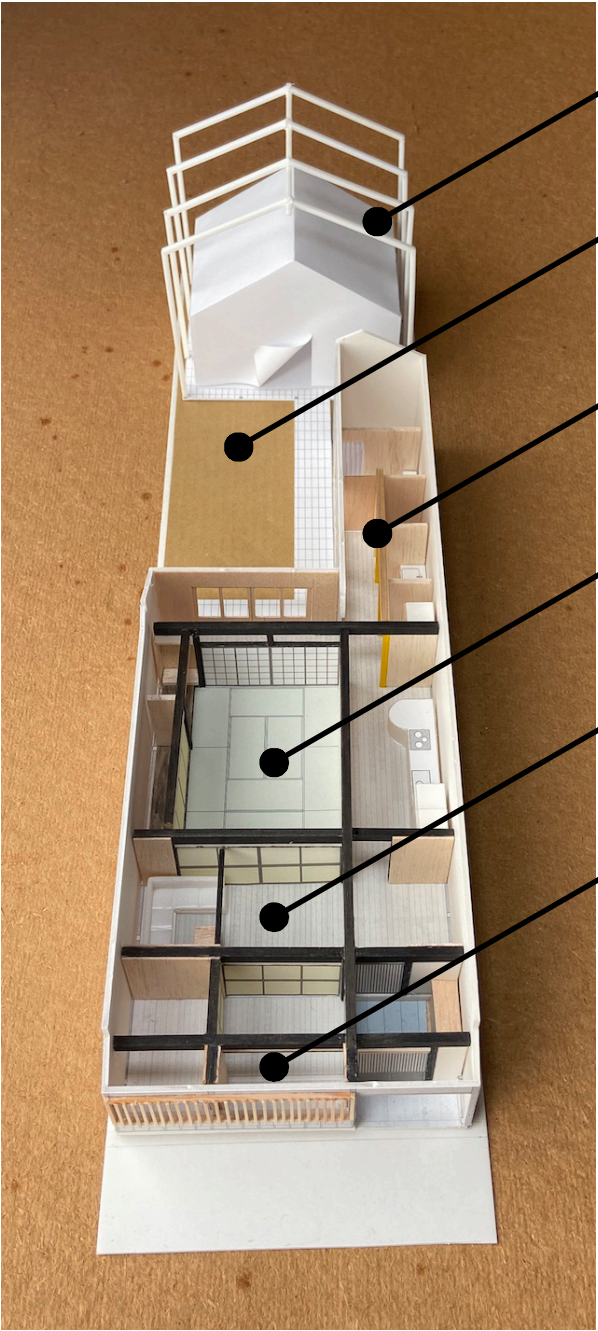
● 正面外観の復元
1階部の前庇と格子窓
ツシ部の出格子窓



● 越前瓦(赤瓦)の屋根
既存の赤瓦を最大限に活用し、笏谷石(入手困難?)の石棟と共に、三国・新保の町家の屋根の再現を目指します。



リノベーション提案(イメージパース)



● グランピングテント

● 「とおり」と「土蔵」で区切られた
中庭を再現

● とおり(ニワ)と水まわり

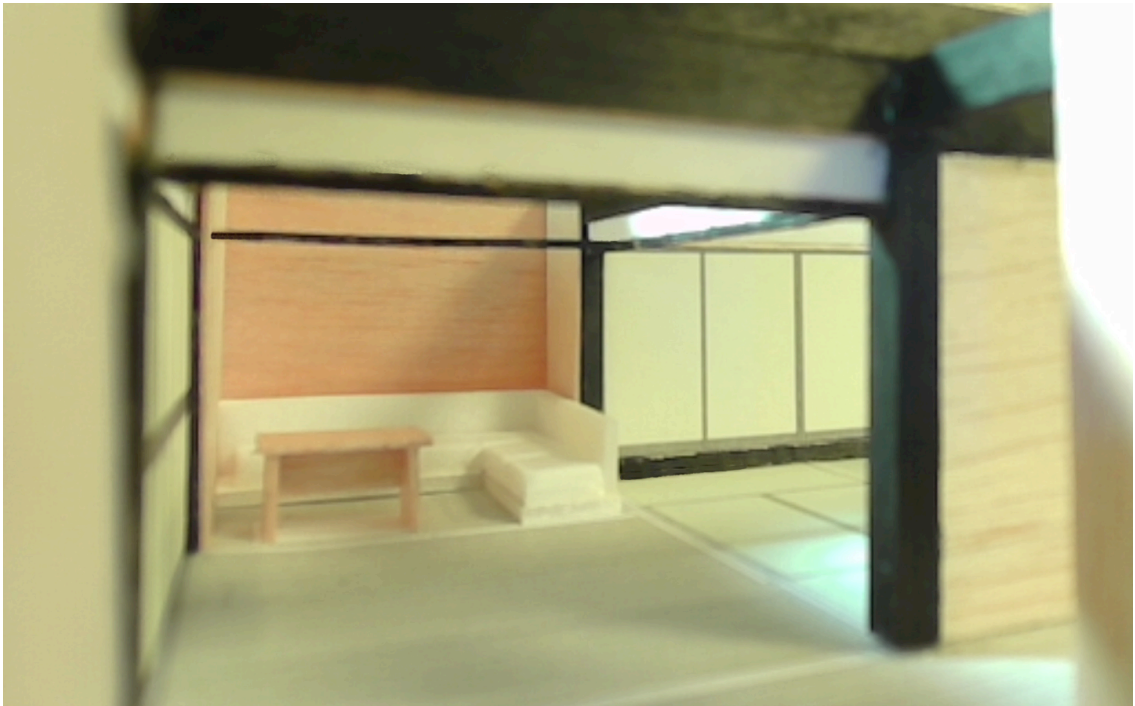
● ざしき一客室(畳の間)

● おえーリビングスペース

● げんかんのま・なんどー寝室

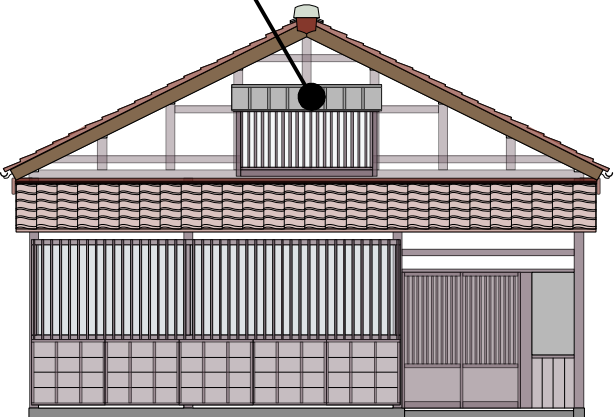
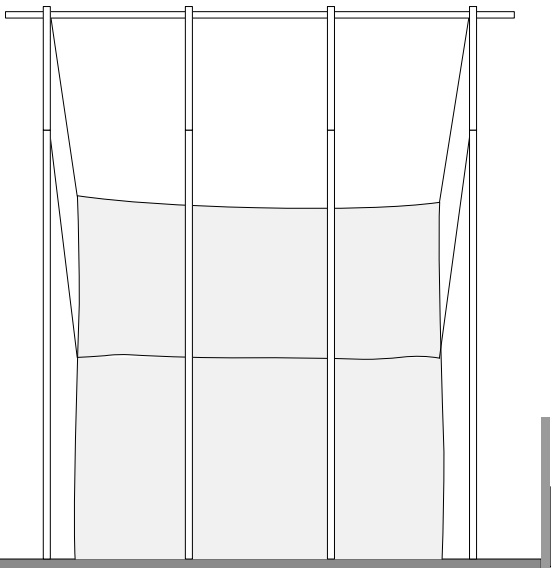
● 越前瓦(赤瓦の再利用)

● 下見板貼り



内装材はキズに強い、安価に補修可能な仕上げとする。
内部床の段差を小さくし、バリアフリーな空間にする。

● 出格子窓の再現



概 算 工 事 費

NO	工事種別	工事内容	数量	金額
1	解体工事	屋根瓦おろし、屋根母屋桁まで解体、外壁解体、床解体	1式	1,500,000
2	仮設工事	仮設足場、発生材処分、仮設トイレ、仮設電力水道費、内部・外部養生費、水盛遣り方	1式	750,000
3	外装工事	屋根瓦工事、外壁下見板、外部塗装、外部建具、左官工事	1式	5,500,000
4	内装工事	土間コン、内部木工事、内部建具(内窓)、塗装、雑工事(畳、キッチン家具等)	1式	10,500,000
5	電気設備工事	幹線引込み・電灯・コンセント、給排水衛生設備工事,上下水道引き込み	1式	4,000,000
6	その他工事	水まわり部増築、給排水衛生設備工事、外構植栽(テント含む),上下水道引き込み	1式	8,200,000
7	諸経費	現況調査、設計料(基本・実施・構造)は別途	1式	3,000,000
	小計			33,450,000
	消費税			3,345,000
	合計			36,795,000

注1 様式2の概算工事費と整合すること

注2 概算工事費の工事種別については、適宜修正、追加していただいて構いません。

注3 概算工事費の公表にあたっては、実際に工事をする際に工事費が増加する場合がある旨を記載して公表するものとする。